

議会傍聴のお知らせ



【本会議質問】

9月**11**日 (水) 午後1～2時

- 茨城県の最低賃金を引き上げ、都市部への人口流出や人手不足の解消
- 保育・幼児教育無償化の実施にむけた課題と、保育士の処遇改善
- 私学助成を拡充し、お金の心配なく学べる県の取り組み
- いじめや不登校への支援と対応
- 選択的夫婦別姓や性暴力被害支援などジェンダー平等・個人の尊厳を守る
- 自給率向上にむけた県農業の課題
- 東海第2原発の廃炉を実現し、適正な再生可能エネルギーの普及へ

その他

【予算特別委員会質問】

9月**20**日 (金) 時間未定

- 夜間中学校の開設に向けた取り組み
- 学校給食での米飯・パン・めんなど主食の安定供給を保障する県の役割
- 水道事業の課題と「水道整備基本計画」や「水マスタープラン」の見直し
- 東海第2原発の再稼働ストップ

その他

「県政が身近に感じられない」といった声が寄せられますが、一度、議会を傍聴してみませんか？
県庁舎東側の議会棟にお越しいただき受付すればどなたでも傍聴できます。

質問の内容は変更になることもありますが、どの問題でも県民の声を届けられるよう取り組みます。



県議会議員 江尻 かな

江尻議員

加齢性難聴者に 補聴器購入補助を



江尻かな議員は、6月の議会で「年を取るとともに耳が聞こえにくくなる高齢者に対して、15～30万円と高価な補聴器の購入費補助を行うなど、適切な使用を支援する取り組みを」と県に求めました。

よって認知症予防にどのような効果があるのか国の検証も始まっていることから、その動向を注視していく」と答えました。

日本共産党が国会で購入費補助制度を求めたのに対し、麻生財務大臣は「厚労省から提案がまだないが、やらなければならない必要ない問題」と述べています。

自治体や関係団体からも要望が出されており、兵庫県議

難聴は認知症要因の一つ

保健福祉部長は「国でも難聴は認知症になる要因の一つとしている。補聴器の使用に



山中議員 県総合福祉社会館 障害者用トイレ修繕完了

山中議員が改善を要求

県総合福祉社会館（水戸市）を利用する方から、「障害者用トイレが壊れていて使えない」と訴えが寄せられ、山中たい子議員が6月の保健福祉医療委員会で早急な修繕を求めました。福祉指導課長は「7月末には工事に着手したい」と答弁しました。

このほど、身障者用トイレ4基すべてと、男性用トイレ

10基のうち6基の修繕が完了し、残り4基も対応しています。

年間13万人超が利用する福祉社会館は、1991年に開館。社会福祉協議会や老人福祉施設、民生委員などの福祉団体と、身体障害者福祉協議会、難病団体連絡会など当事者団体の活動拠点です。

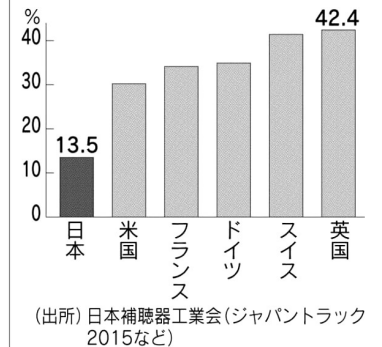
また、大小様々な催し物や自主的な学習講演会などにも幅広く使用されていますが、

第2駐車場が会館から遠いなど、利用にあたっての課題が
出されています。



使用可能になりました

日本の補聴器使用率は低い



会は全会一致で公的補助制度創設を求める意見書を可決しています。
県内でも日本共産党市町村議員が相次いで補助を求めて議会で質問。水戸市は、「高齢者のコミュニケーション確保のために必要なものと認識している」と答えました。